

# フランス便り

田中 早弥

## はじめに

私がフランスに留学した理由は、フランスの古い建物を見たり海外で生活したりすることで、誰もが無意識に持っていてしまっている固定概念を変えたいと思ったからです。

はじめは、フランス語に対して特別な思い入れがあったわけではありませんでした。入学してすぐ一年間の授業を決めることになり、第二言語として成り行きで履修したのがフランス語でした。それまでフランス語を学ぼうなど一度も考えたことがなかったので、難しそうという印象から、何とかやり過ごそうと思っていたのがその頃の正直な考えでした。

しかし、私はこの大阪産業大学で素晴らしい先生方に恵まれ、初めて知るフランスの文化と言語をもっと知りたいと思うようになったことが理由でフランスへの留学を決めました。本文では、私がフランスで見て感じたことなどを紹介していききたいと思います。

## 食事

私が、フランス留学するうえで一番不安に思っていたことが食生活でした。私は食事付きのホームステイを希望したので食の好み合わなかったらかなり大変になるか



もしれないとネガティブなことを考えていましたが、その不安は家に着いたその日に無くなりました。それどころか、ホームステイ先の家庭料理は

どれもこれも美味しいものばかりです。私の家では、肉や魚は頻繁には出ず、野菜中心の料理がほとんどです。野菜のタルトやピュレ、炒め物、ポターージュなどが主な料理で、毎日色とりどりのたくさんの種類の野



菜が出てきます。

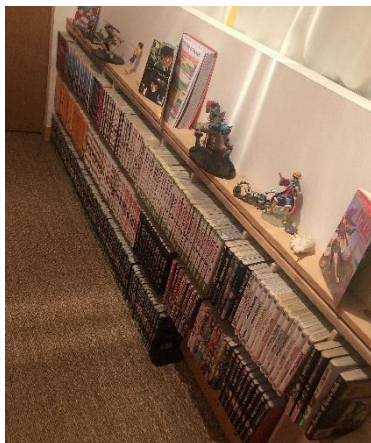
フランスに着いて初めての食事。ホームステイ先で初めて食べた鳥の丸焼き。



ストラスブールは、フランスのアルザス地方に位置しており、アルザスではタルトフランベというピザに似た食べ物が有名です。日本でいう鍋みたいな感覚で、私のホームステイ先では、大人数で食卓を囲む時は決まってタルトフランベを食べます。

## 漫画

なんと、この棚にある本は全て、フランス語に訳された日本の漫画です



私のホストファミリーは、パパとママそして15歳のお兄ちゃんと10歳の妹の四大家族の家庭です。みんな日本が大好きで家中に日本の物があふれています。驚いたのが、フランス語で訳された日本の漫画がたくさんあったことです。日本で有名な漫画は一通りあり、自分自身もそれなりに漫画を読んできましたが、その日本人の私にもわからないようなコアな古い漫画もフランス語でありました。それ程、日本の漫画はフランスでとても人気です。

## コルマール

フランスに行くなら必ず一度は行きたいと思っていたコルマールに案外早い段階で行くことができました。ストラスブールからコルマールまでは電車に乗って30分ほどで行くことができます。



私がコルマールに行きたいと思っていた最大の理由は、私の大好きなジブリ映画「ハウルの動く城」のモデルになった街だからです。作中にコルマールにある Maison de Pfister という建物が登場するシーンがあります。実際に私も見に行きましたが、特にその建物だけが目立って建っているわけで



作中では、この建物の上空をソフィとハウルが歩きます。気になる方は、映画を見てチェックしてみてください

はないので、調べていかないと見逃してしまいそうでした。しかし、逆に簡単に見つからないのが自分的には冒険心をくすぐられて楽しかったです。また、コルマールはエマワトソンが主演を務めた映画「美女と野獣」の撮影舞台となったことでも有名になりました。コルマール自体はそんなに大きな町ではありませんが、これらの映画が好きな人にはぜひ一度は訪れてほしい場所です！

## 発見



フランスに来てから沢山の発見がありました。その中でも面白いと感じたものを一つ紹介したいと思います。

ストラスブールの街には至る所に TABAC (タバ) という看板を見かけます。これは、見たままタバコ屋のことです。しかし、昔日本にあった様なタバコだけを取り扱っているお店ではなく、タバコはもちろんお菓子や飲み物、雑誌、切手や封筒、現地のお土産品など品揃えの種類は思った以上にあり、日本の様にコンビニのないフランスにとっては、タバコ屋が少しそれに近い役割をしています。

## まとめ

フランス人に対してあまりいいイメージを持っていない人もいます。実際、私もフランスに来るまであまりいいイメージを持っていませんでした。しかし、フランスに来てから私はたくさんの素敵な人たちと出会うことができました。ホームステイ先の家族、街にいる知らない人やお店の人達と関わっていく中で、私はここに来てから一度も嫌な思いを



したことはありません。それどころか、日本にいた時よりも人からたくさんの優しさをもたらしているように感じます。私が留学をしたいと思うきっかけの一つにそのような固定観念を変えたいとはじめに述べましたが、実際にそれが達成でき、実感することができています。今後もこのような発見を増やせて行けたらと考えて

最後まで読んでいただきありがとうございました。